



2026年7月15日

NITE (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北 陸 支 所

News Release

『夏バテ(夏のバッテリー)』にご注意を ～「リチウムイオン電池搭載製品」は3つのCで事故を防ぎましょう！～ (北陸3県版)

1. 事故の発生状況

2021年から2025年までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で発生したリチウムイオン電池搭載製品^{※2}の事故は41件でした。

- (※1)：消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。
- (※2)：モバイルバッテリー、電動アシスト自転車、充電式電動工具、充電式掃除機、ポータブル電源、ワイヤレスイヤホン、ワイヤレススピーカー、携帯用扇風機等、リチウムイオン電池を電源として使用する製品

表1 県別年別事故発生件数（2021～2025年）

事故発生年		富山県	石川県	福井県	合計
2021年		2	4	2	8
2022年		4	2	2	8
2023年		2	6	0	8
2024年		6	1	2	9
2025年		6	1	1	8
合 計	事故件数	20	14	7	41
	うち火災件数	[19]	[11]	[7]	[37]

表2 県別被害状況別事故発生件数（2021～2025年）

被害状況 ^{※3}		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	3	0	0	3
物的被害	拡大被害 ^{※4}	15	9	5	29
	製品破損	2	5	2	9
被害なし・不明		0	0	0	0
合 計		20	14	7	41

(※3)：物的被害があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害（死亡・重傷・軽

傷)が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。
(※4) : 当該製品のための被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」として
います。

2. 製品事故事例

(1) 非純正バッテリーが充電中に出火した事故(デジタルカメラ)

事故発生年月 2023年7月(石川県、男性、30歳代、拡大被害)

【事故の内容】

ネット通販で購入したデジタルカメラ用バッテリーパックを充電中、バッテリーパック付近から発煙し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

非純正品のバッテリーパックの電池セルが異常発熱し、焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。

(2) 購入後にリコール情報を確認しなかったことによる事故(充電式掃除機)

事故発生年月 2022年6月(富山県、性別不明、年齢不明、拡大被害)

【事故の内容】

充電式掃除機を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

充電式掃除機のバッテリー内部の基板から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、基板が確認できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。

なお、輸入事業者は、制御基板上の電気部品の不良により保管時にリチウムイオン電池セルから基板に異常電流が流れ発熱する状況が複数確認されたことから、事故の再発防止を図るため、2021年10月1日付けで対象製品の所有者に対しダイレクトメールを送付するとともに、同年12月17日付けでホームページに情報を掲載し、バッテリー放電の呼びかけ、製品の回収及び返金を実施している。また、経済産業省では、2021年10月29日付け、及び同年12月17日付けでニュースリリースを掲載し、対象製品の所有者に対し、使用中止及びバッテリー放電の対応を呼びかけている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 塚谷、高島

電話 : 076-231-0435

以上